

保護者から暴力を受けることを児童虐待と言います。虐待はこどもに大きな影響を与えるので、早く問題を解決する必要があります。

○児童虐待ってどういうことをいうの？



・こどもの親や、親に代わる保護者などが、こどもに暴言や暴力を加える、ご飯を食べさせないなど、こどもが育っていくために必要な世話をせず、こどもの心や身体を傷つけることをいいます。

・虐待には身体的虐待・心理的虐待・ネグレクト・性的虐待の4種類がありますが、

今回は命を落とす可能性が一番高い、身体的虐待について説明します。

○身体的虐待とはどんなことをいうの？

・首を絞める・殴る・蹴る・投げ落とす・激しく揺さぶる・熱湯をかける・溺れさせる・

逆さ吊りにする・タバコの火を押し付ける・布団蒸しにするなどの暴力をこどもに振るう

ことです。京都の事件では、こどもの首を絞めたため、命が奪われました。暴力の中で

も、首を絞めることはもちろん、顔や頭を殴ったり、おなかを踏みつけたり、お風呂で溺

れさせる、布団蒸しにするなどの行為は特に危険です。そのような暴力があるときは、親

とこどもを離す必要があります。

○どうして虐待が起こるの？

・虐待には、いろいろ難しい問題が絡んでいます。その中で多いのが、親もこどもの時に虐待を受けていた。また、親が困った時に相談にのり、助けてくれる人がいない。こどもと親の相性が合わず、親がこどもの育て方に困っている場合などです。しかし、だれにも相談できないため、その状況が長く続いて、暴力がだんだんエスカレートしていくことが多いのです。



○虐待がこどもの脳の発達に影響することを知っていますか？

・暴力により頭に大きなけがをしたら、発達が遅れたり、歩けなくなったり、目が見えなくなることがあります。しかし、後遺症が残るような大きな怪我をしていなくても、長い間虐待を受けると脳が委縮し、生まれたときは問題がなくても、成長するにつれて発達に遅れが出てくる場合があります。それほど虐待の影響は大きくて怖いのです。

○他にどんな影響があるの？

・虐待が起こる理由として、親もこどもの時に虐待を受けていることが多いと説明しましたが、虐待を受けて育つと自分のこどもにも同じようなことをしてしまう可能性が高くなります。親は自分が育てられたように、自分のこどもを育ててしまいがちです。なぜなら、それ以外の方法がわからないからです。そのため一刻も早く虐待の環境からこどもを救い出す必要があります。

○ではどうしたらいいのでしょうか？

・もしあなたが家で虐待を受けていたら、我慢してはいけません。自分を助けることはもちろんですが、親を助けるためにも、学校の先生やスクールカウンセラーに相談してください。親も虐待をしたくてしているわけではありません。そういう方法しか知らないだけです。正しい養育方法を知ること、親も子どもも助けられるのです。

保護者の方へ

- ・家庭で虐待が起こることは親にとっても子どもにとっても不幸なことです。
- ・子どもの育て方がわからずに悩むことがあれば、相談してください。相談することにより、心が軽くなります。
- ・また、親の怒鳴り声がよく聞こえる、子どもが「痛い」「やめて」などいつも泣いていて気になる家庭があれば、先生に相談してみてください。虐待については、病気と同じで予防と早期発見が大切です。手遅れになると、子どもの一生に関わってしまいます。
- ・「これって虐待？」と思ったら、自分のことでも他人のことでも良いので、勇気を出して相談してください。また、緊急の場合は「189」（いちはやく）の番号に電話をしてください。自分の住んでいるところの管轄の児童相談所につながり相談に乗ってもらえますので、覚えておいてください。
- ・虐待が子どもに与える影響はもっとたくさんあります。
- ・次回もほかの3種類の虐待とともに、説明していきます。

